

## 江戸川区立第二葛西小学校 令和6年度学校経営方針

### 1 教育目標

- ・じょうぶな子 ・思いやりのある子 ・考える子 ・やりぬく子

#### ※令和6年度の重点「自らすすんで取り組む」

第二葛西小学校の子どもたちは明るく素直で、指示されたことはしっかり取り組みます。そうした優しさ、誠実さに加え、自分で考え、判断し、自ら取り組んでいくことなどの力をより一層高めていくことができれば、大きな成長が期待できます。

子どもたちは、私たち大人が経験したことのない、激動が予想される未知の世の中を生きていかなければなりません。そして、子どもたちは、やがて社会を支え発展させていく存在になります。前例や誰かの指示に従っていれば何とかなる、一定の知識のみを身に付けていれば対処できるという時代ではなくってきています。ただ単にさまざまな変化を受け止めて対応していればよいという時代でもなく、自らが変化を生み出すような力、新たな道を切り拓く力が求められます。

そこで、令和6年度、第二葛西小学校では、じょうぶな体、思いやりのある心、考える力、やりぬく姿勢を「自らすすんで取り組む」ことにより、しっかりと身に付けられるよう教育活動、学校運営を展開していきます。

### 2 教育目標の達成に向けた基本方針

全ての教育活動を人権尊重の精神を基調とし、「江戸川区子どもの権利条例」を踏まえ、以下の基本方針のもと、人権教育を基盤として誰一人取り残さない、一人一人の子ども力を伸長する教育を推進します。

- 確かな学力を育成します
- 健やかな身体を育成します
- 豊かな心を育成します
- 特別支援教育を推進します
- 安心・安全な学校づくりを進めます
- 家庭・地域への積極的な情報発信、連携・協働を推進します
- 教職員の資質・能力の向上、業務の効率化を推進します

### 3 具体的な取組

#### (1) 確かな学力の育成

##### ①自らすすんで学ぶ態度を育みます

- ・一人一人の児童の実態を踏まえ、興味・関心や学ぶ意欲を高める指導を充実するために、3年から6年の算数において習熟度別指導を実施します。
- ・5、6年の理科・社会などを中心に教科担任制での授業を行うとともに、各学年の一部の単元等において教員間の交換授業、学級の枠を超えての合同での授業などを推進します。
- ・主体的・対話的で深い学び、個別最適な学びと協働的な学びを推進するため、読書科などにおいて図書資料を活用した調べる学習を推進します。また、問題解決的な学習や体験的な学習を積極的に取り入れ、見通しをもってねばり強く取り組み、自分の学習を振り返っ

て次の学習につなげる学び、友だちとかかわりながら考えを深めたり表現したりする学びの充実を進めます。また、1人1台端末の効果的な活用を図ります。

## ②基礎学力及び学習習慣の定着を進めます

- ・江戸川区独自の学力調査や全国学力・学習状況調査などをもとに、きめ細かな児童の実態把握、課題の明確化、組織的・計画的な授業、取組を推進します。
- ・朝学習の実施、教職員による放課後補習（ステップアップ学習）及び民間の補習などに取り組むとともに、電子ドリルを活用するなどして、学力の層に応じた指導の充実を進めていきます。
- ・低学年からの学習習慣の確立と基礎学力の系統的な育成を図るため、入学期の学習の留意事項や小学校での学習の見通し、基礎・基本の定着に向けた取組などを児童、教職員、保護者で共有しつつ、教育活動を展開します。また、中学校への円滑な接続、義務教育9年間を見通した教育活動をめざし、6年を中心に中学校での教育内容を視野に入れた活動を推進したり、交流の機会を設けたりします。さら家庭へのはたらきかけを一層強化し、学校と連携・協働で児童の学力向上に取り組む体制を充実させます。

## ③学びの充実に向けた取組を推進します

- ・教科の枠を超えた学習の設定、多彩なゲストティチャーを招いての「本物」を学ぶ機会を充実、さまざまな教育資源の活用などを進めます。
- ・学習評価の充実を図り、自ら学ぶ力を育成するとともに授業の改善・充実を推進します。
- ・教育活動の計画・実施・評価・改善のサイクルを機能させます。また、その内容の積極的な発信に努め、家庭や地域の率直な声を受け止めて、改善・充実を進めます。

## (2) 健やかな身体の育成

### ①自らすすんで体力を高めようとする態度・意欲の向上を図ります

- ・目標をもって体力調査に臨ませるとともに、児童が自分の体力の実態を知り、自らの力を高めようとする意欲の向上を図ります。また、体育の授業における真に運動に取り組んでいる時間の比重を高めることに努めます。さらに、毎週30分の全校運動遊びを実施するとともに、なわとびやマラソンをはじめ計画的に多様な運動に取り組む元気アップタイムを設定します。
- ・児童が運動に取り組む際の目標や達成状況を記入できるチャレンジカードの端末の活用、学校隣接の公園を活用した遊び場の拡充、学年を超えて高め合う異学年交流を取り入れた運動の実施など新たな体力向上への取組を企画、推進、検証、改善していきます。さらに、こうした取組を家庭・地域に対して積極的に発信し、体力向上への機運を高めます。
- ・午前1，3，6年、午後2，4，5年の2分割の形で運動会を実施します。また、表現活動の全校交流の場を設定します。

### ②自らすすんで健康・安全な生活を送る力を高めます

- ・感染防止や熱中症の予防などを徹底し子どもたちの健康・安全を第一に教育活動を展開します。
- ・自分の身体や健康に関心をもち、健康で安全な生活を実践していこうとする態度を育てるため、保健の授業や発育測定之机会などを活かした保健指導の充実、歯の健康にかかわる取組の充実を進めます。また、熱中症予防を含め健康管理、安全管理を徹底します。

### ③食に関する関心を高めます

- ・給食において日本や世界の料理、季節に応じた食材を提供したり、洋食・和食のマナーを

学ぶ機会を設けたりし、食への関心を高め、豊かな食生活を実現していこうとする態度を養うたりします。

### (3) 豊かな心の育成

#### ①主体性や自主性を育む取組を推進します

- ・主体性・自主性・協働性を育成するため、委員会活動や学級での係・当番活動の充実を推進します。また、1年と6年、2年と4年、3年と5年の組み合わせを基本とした異学年交流を推進します。さらに、幼稚園、保育園との直接交流の推進や、中学校との連携強化を進めます。

#### ②自分のことも相手のことも大切にすることを育みます。

- ・家庭、地域との連携を図りつつ、すべての教育活動において、多様な文化、生き方、価値観などを認め、尊重し、さまざまな人々と共に生きる態度、心を培います。また、友だちのよさを見付け、お互いを認め合うことを大切にします。さらに、困ったときには困ったと言える環境の充実を進めます。
- ・保護者や地域の一層の理解と協力を得て道徳教育の充実を図るため、道徳授業地区公開講座を実施するなどします。また、担任間の連携・協働による道徳の授業の充実をめざします。

#### ③豊かな感性、情操を高めます

- ・音楽に対する感性を育むとともに、豊かな情操を育成するため、音楽会を実施します。
- ・週1回の休み時間の読書活動(30分)や朝読書(15分)、学校図書館開館時間の拡充などにより読書の時間を十分確保するとともに、PTAボランティアによる読み聞かせを進めたり、公共図書館との連携を推進したりして読書環境を充実し図書に親しむ子どもの育成に努めます。

#### ④基本的生活習慣を育てます

- ・「二葛西小の約束」「二葛西小の学習のルール」に基づき、保護者の方々の理解と協力を得ながら、基本的生活習慣の確立をめざします。
- ・低学年からの基本的生活習慣の系統的な育成を図るため、学校生活の基本、友だちと仲良く楽しく過ごすための工夫などの指導を充実します。また、入学期の保護者を対象としたはたらきかけを積極的に推進するなどして、家庭での取組の充実、家庭との連携強化を推進します。
- ・すべての児童が校門などであいさつ運動を行うとともに、児童代表委員会の活動にも位置付け、明るく活気のある学校風土をつくります。また、清掃や給食指導などの徹底を進めます。

#### ⑤健全育成を推進します

- ・いじめ防止を徹底に向け、ハイパーQ Uテスト(学校生活にかかわるアンケート)や児童へのアンケート調査による実態の把握、友達のよさを見つけ認める取組の充実などを推進します。
- ・不登校、不適応などへの迅速・適切な対応や児童虐待の未然防止を徹底するために、教職員間での定期的な情報共有や対応を推進します。また、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、関係諸機関、民生児童委員などとの連携を積極的に図ります。さらに、校内別室指導や一人一台端末を活用するなどした居場所づくり、学習保障などを進めます。

- ・学校独自に策定した「タブレット活用ルール」に基づく、情報モラルの育成を進めるとともに、トラブルの未然防止や情報モラルの育成にかかわる取組を推進します。

#### ⑥体験活動を推進します

- ・5年生の磐梯でのウインタースクール、6年生の日光移動教室、おおぞら学級4年生の区の連合日光林間学校を実施し、自然や文化などに触れる体験を行うとともに、集団で行動することの意味や価値を学ばせます。
- ・江戸川・葛西にかかわる多様なゲストティチャーを招き、海苔すき体験を行う機会を設定するなどして、ふるさとを愛する心を育みます。

### (4) 特別支援教育の推進

#### ①おおぞら学級での指導を充実します

- ・教職員が連携・協力しながら、教科ごとに学習集団を構成するなどして、一人一人に応じたきめ細やかな指導を進めます。

#### ②個に応じた指導を充実します

- ・配慮を要する児童について、困難の回復と学級での生活が安定したものになることをめざし、個別の計画をもとに、家庭や関連機関と連携しながら、よりきめ細やかな活動を展開します。
- ・一人一人の特性に応じた配慮、指導、支援の工夫・充実を図るため、特別支援教育コーディネーターや校内委員会を中核として、巡回指導や特別支援教室専門員、介助員などの活用、エンカレッジルームの活用、日本語指導員や日本語教室などの多様な人材のより組織的、効果的な活用や支援機関との連携強化を図ります。

#### ③通常の学級と特別支援学級との交流・共同学習を推進します

- ・多様な人々と共に生きる心や互いに学び合う態度を育てるため、通常の学級とおおぞら学級（知的障害）との連携をより一層推進し、教科・領域の指導や学校行事において共に学ぶ機会を積極的に進めます。特別支援学級の一人一人の実態に応じ、通常の学級の一部の授業に参加する、作品等の交流を行うなど、多様な形での交流・共同学習を推進します。また、教職員の連携・協働を一層推進し、すべての子どもをすべての教職員で見守り育てる体制を強化します。
- ・二葛西小の学区域に居住し特別支援学校に通学する児童とのさまざまな交流を進めます。
- ・パラスポーツの体験や特別支援学級の児童との交流などを中心に、障害者理解にかかわる取組を推進します。

### (5) 安心・安全な学校づくりの推進

#### ①自分の身体、命を自分で守る力を高めます

- ・さまざまな自然災害を想定した多様な避難訓練、防災教育、警察等と連携した薬物乱用防止教室、セーフティ教室、不審者対応訓練などを進めます。また、警察等と連携して登下校の安全確保、自転車の乗り方をはじめ交通安全にかかわる指導を進めます。
- ・学校独自に策定した「タブレット活用ルール」に基づく指導を徹底するとともに、情報通信機器によるトラブルの未然防止のための取組を進めます。

#### ②学校の環境の整備・充実に努めます

- ・児童、教職員、用務が連携し、清掃の徹底、校内美化の推進を図ります。
- ・自然環境を整備し、教育活動への活用を進めます。
- ・児童数、学級数の増加を踏まえ、学びの場の確保・工夫、より効率的で効果的な教育活動

の展開などを推進します。

### ③事故防止を徹底します

- ・施設・設備及び教育活動にかかわる安全管理を徹底します。
- ・校外学習、宿泊体験学習などでの安全確保を徹底します。
- ・食物アレルギーにかかわる事故防止を徹底します。
- ・事故発生時の迅速・的確な対応を図るための準備などを進めます。

### ④災害への対応・準備を進めます

- ・地域の方々や関係機関と連携し、避難所開設・運営に向けた準備・取組を推進します。

## (6) 家庭・地域への積極的な情報発信、連携・協働の推進

### ①学校への理解を深めていただくよう努めます

- ・教育活動の実際や児童の様子、学校の方針や取組などを、ホームページ、学校公開、学校だよりなどにより、積極的に情報発信していきます。

### ②家庭や地域の方々との連携を推進します

- ・家庭教育への支援を充実するため、保護者会やホームページを通して学校での教育活動の実際や家庭での取組のポイントなどを積極的に発信するとともに、入学期の保護者を対象として保護者会の充実などを推進します。また、スクールソーシャルワーカーや関係機関との連携をより一層強化し、家庭への積極的なはたらきかけを進めます。
- ・児童が自ら地域を支える人材として育っていくよう、PTA、おやじの会、学校応援団などのお力をいただきながら教育活動を進めます。また、海苔すき体験など特色ある文化に触れる機会などを設定し、江戸川・葛西への愛着を深めるよう努めます。
- ・就学前教育や中学校との円滑な接続を図るため、地域の幼稚園、保育園や東葛西中学校などとの連携・交流を進めます。

### ③保護者や地域の方々の声を受け止め、学校の改善を進めます

- ・学校の改善・充実を進めるため、学校評価やさまざまなアンケートなどを通して児童、保護者、地域の方々の率直な声を受け止め、学校運営や教育活動の改善・充実につなげます。

## (7) 教職員の資質・能力の向上、業務の効率化の推進

### ①学校運営、教育活動の絶え間ない改善を進めます

- ・学校評価を活用して、学校運営や教育活動にかかわる課題の明確化や改善策の立案・推進し、絶え間なくよりよい学校づくりを進めます。
- ・より効果的で効率的な学校運営を推進します。

### ②教職員の資質・能力の向上を進めます

- ・若手教員の組織的な育成や授業改善・教育活動の充実に向けた研究・研修などを進めます。

### ③業務の効率化、「働き方改革」を推進します

- ・ペーパーレス化を一層推進していきます。
- ・教職員の事務負担の軽減を図り、授業や指導により専念できるよう、副校長補佐やスクールサポートスタッフ、学年アシスタント、校内別室指導員をはじめ多様なスタッフの効果的な活用を進めます。